

鼓童

鼓童、月を打つ

『Kaguyahime (輝夜姫)』

パリ・オペラ座ガルニエ宮公演



- トピックス 鼓童、月を打つ
『Kaguyahime』パリ・オペラ座ガルニエ宮公演
- トピックス 吉利の中国日記
- 鼓童の公演を観に浅草へ行こう
- スタッフの仕事紹介「内なる太鼓を響かせよう」

大太鼓の響きに呼応するようにダンサーの身体が躍動する瞬間。
(写真：Charles Duprat / Opéra national de Paris)

鼓童通信

2013年1月～2月



二〇一三 見留知弘がイリノイ州シカゴでの公演に合流しました。日本とは違う劇場空間やお客様の反応に刺激を受け、元気に旅をしている皆に会ってきました。
(写真提供：見留知弘)

ONE EARTH TOUR ワン・アース・ツアー

二〇九 シアトル公演

アメリカ公演で日本との違いを強く感じたのはお客様の反応です。日本では演奏中にも拍手が聞こえてくるときがありますが、こちらではそれがありません。演奏中はじつくりと聴いてくださっている様子で演奏が終わるとその分とても大きな拍手をくださいます。しかしこの日は他のどの日も違って一部二部ともにお客様の反応がほとんど分かりませんでした。後半にかけて少しづつ不安になってしまいましたが、一番最後の演奏が終わると嵐のような拍手と歓声に会場が包まれました。涙が出そうになり、皆様からのエネルギーが伝わってきた公演でした。

二〇十四 移動日

今日はバレンタイン！今回のツアーはスタッフを含め女性が三人しかいませんが、この日のためにオフを利用して事前に三人で、男性陣にあげるチョコの準備とスペシャル企画を練りました。どういった包装にするかいろいろと試して、一人一人に簡単かつ愛の籠ったメッセージを添えました。そしてなんと、パリにいた「輝夜姫」班の女性メンバーからもチョコが届き、合わせてシカゴからナーバーへのバス移動で一人一人に配りました。みんな喜んでくれたようでした。たまにあるこんなイベントも楽しいものです。

二〇十七 ミネアポリス公演

この日は私が研修生一年生だった頃に日本に来てくださった「KASAMIX 2010」のメンバーが数名、公演を観にきてくれました。海外が初めての私にとって、知り合いであり、ましてや研修生の頃の思い出深い方々がきてくれることは本当にうれしいことでした。残念ながら終演後に会うことはできませんでしたが、スタッフから「みんなとても喜んでくれていた」と聞き、それが本当でありたいと心から感じました。また数年後にさらに成長した姿を見ていただけよう、次の再会を楽しみに日々精進したいと思えます。
(報告：安藤明子)

KAGUYAHIME 輝夜姫

一〇二三〇一〇三 稽古期間

飛行機で約十五時間、パリにやってきました。着いた翌日、時差ボケで感覚もはつきりしない状態で稽古場所のバスティーユへ。まずは衣装の採寸があり、パンツ一枚になりおどおどしていると女性スタッフがテキパキと作業をしていきました。パレエの世界では、当たり前のことらしいですが、ビックリしました。

稽古は一緒に演奏する西洋パーカッションの方々、楽譜に対してかなり正確な演奏をされる印象があり、ノリやニュアンスを大切にしている感覚がありました。初日前の最終通し稽古も良い雰囲気で行うことができました。

二〇一 ガルニエ宮オペラ座・公演初日

入るだけで感動に包まれる場所に、演奏家として舞台上立つ感慨に浸り、初日を迎えました。シャガールの天井画は細かな金色の装飾と見事に協調し、劇場の一部としての控えめな主張と、ふとした瞬間に目に入る素晴らしい美しさを兼ね備えています。ここでの演奏にどれほどの緊張を感じるか正直不安でしたが、パリの美しい町並みや風景に囲まれた生活を送ることで、劇場のような非現実的な空間にも構えること無く居られる感覚がありました。カーテンコールでは、演奏者が舞台上上がると一際大きな拍手が起きました。最終日まで良い舞台づくりをしていきたいと思えました。
(報告：草洋介)
※「Kaguyahime」パリ・オペラ座公演については四、五ページをご覧ください。

JAPAN CULTURAL ENVOYS 文化庁文化交流使

昨年七月、藤本吉利、小島千絵子が「文化庁文化交流使」としてご指名をいただきました。一月末～二月末にかけて、藤本吉利が中国へ、小島千絵子がスペインへ派遣され、約一ヶ月現地に滞在して、ワークショップやデモンストレーションなどを行いました。

小島千絵子 スペインでの交流

文化交流使のお役を頂きスペインにて一ヶ月、日本の太鼓や民俗芸能を交流の軸として活動をして参りました。毎日が



二〇二三 バルセロナ日本人学校での太鼓と踊りのデモンストレーションの様子。
(写真提供：小島千絵子)

出逢いと感動の日々を送りながら、遠く日本を改めて眺め、その文化の深さ暖かさ強さを改めて感じました。

バルセロナの日本人学校には太鼓の授業があり、子供達は三宅や屋台囃子を誇り高く叩いていました。マドリッドではスペイン唯一の太鼓グループ「西和太鼓」さん向けにワークショップ、大使館での共演のステージは大人気でこちらでの日本文化への興味の深さを嬉しく受け止めました。どこでも一生懸命こころを尽くして頑張っています。引き続きポルトガル、ベルギー、イギリスに向かいます。
(報告：小島千絵子)

※藤本吉利の中国での交流については、六七ページをご覧ください。

SOLO ACTIVITY ソロ・小編成活動

二〇二三 藤本容子コンサート「花のうてなの佐渡情話」(佐渡・宿根木)

心にしみる、驚きに満ちた、佐渡の言葉や伝説に触発されて、これまで創作してきた唄たち。民謡、歌謡曲、自らの体験から生まれた唄など、佐渡にちなむ唄



作：宮崎正美

オンパレードでお送りしました。山口幹文(笛)、千田倫子(キーボード)、藤本吉利(唄)の特別出演は、お客様には思いがけないプレゼント。御宿「花の木」満杯の九〇人以上のお客様と共に、大いに盛り上がり遊び尽くし、これまで三六六年の感謝と未来への希望を、あたたかな励ましと喜びの内に刻印することができました。みなさん、ありがとうございます。
(報告：藤本容子)

APPRENTICE CENTRE 研修所

二〇二四〇二六 伊藤多喜雄さん稽古

進級した二年生男性五名のみのみ、こじんまりとした生活となっている研修所。一年で一番の寒さを迎えた、そんな折も折、シーズン最大級の寒波の数日間、唄の講師の伊藤多喜雄さんが来てくださいました。例年は、一、二年生合わせて二〇人に対しての稽古でしたが、今回は五名。「五人だつてこれだけ出来るんだ、というところを先輩方に見せたいじゃないか!」と初対面の研修生一人ひとりを、愛情を注いで、励まして、彼らの持っていた声をぐんぐん引き出してくださいました。

今回取り組む曲の一つとして多喜雄さんが選んでくださったのが宮城県民謡『斎太郎節』。東日本大震災の直後から現地にボランティアに通われている多喜雄さんは、東北の人々の美しいふるさとのこの唄を最近まで歌うことができなかつたそうです。しかし「自分は伝道者にな

MEMBER NEWS メンバー短信

鼓童準メンバーのお知らせ

このたび、一月十九日に研修所を修了した漆久保晃佑、地代純、福島雅仁、三浦康暉の四名が二月一日付で鼓童準メンバーとなりました。どうぞよろしくお願いたします。

写真左より、漆久保晃佑、三浦康暉、地代純、福島雅仁
(写真：上田恵里花)



鼓童、月を打つ

「Kaguyahime (輝夜姫)」
パリ・オペラ座ガルニエ宮公演

文●伊達なつめ (演劇ジャーナリスト)
構成●洲崎純子



(写真: Charles Duprat / Opéra national de Paris, ダンサー: Alice Renavand)

幅広く世界の舞台芸術シーンを取材されていらっしゃる伊達なつめさんにこの歴史的舞台の目撃者になっていただきました。

ゴージャスなオペラハウスは世界中に多々あるけれど、パリ・オペラ座ガルニエ宮はいささか破格。外観の威風堂々ぶりといい、内観の壮麗さといい、まさにヴェルサイユ宮殿を彷彿とさせるネオ・バロック様式の「宮殿」だ。今年2月、このガルニエ宮を本拠とするパリ・オペラ座バレエ団が、二〇一〇年からレパートリーにしているイリ・キリアン振付「Kaguyahime」をここで上演。鼓童が奏者として出演すると知った際は、思わずヒューヒューしたくなった。パリ・オペラ座バレエは、言わずと知れた世界最高峰のバレエ団。キリアンも同じく、現代バレエ界を牽引する、もつとも優れた振付家のひとりだ。この作品が、かつてキリアンが芸術監督を務めていたネザランド・ダンス・シアターの人気レパートリーだったことも、かすかに記憶していたからだ。

でも、実際の舞台を目の当たりにし、併せて「Kaguyahime」の成立事情を知るにつけ、ヒューヒューなどと快挙を囁き立てるような態度は、間違いだつたと思ひ知った。ハードもソフトも超一流が揃ったこの公演における鼓童の存在意義は、想像以上に大きい。むしろ「中核を成す」と言った方がいいキーパーソンだつたのだ。

石井眞木がバレエとして上演されることを前提に作曲したという『輝夜姫』。キリアンの振付では、月からやつて来たシルバーに輝く輝夜姫の動きを雅楽、黒ずくめのスタイ

リッシュな衣服に身を包んだ為政者サイドの人間たちを西洋打楽器、生成り糸の白を身につけた生命力あふれる民衆たちを和太鼓や笛など鼓童の和楽器が表現するという、明快な構成になっている。

鑑賞した日の輝夜姫は、オペラ座バレエの大輪の花 マリリア・エス・ジロー。第幕、長い手足をなめらかなかつシャープにしならせながら、ジローは静謐で美しいシンメトリーを形成してゆく。その姿は、絶世の美女というより（現実のジローは絶世の美女だけど）異星からの発光体そのもの。何者をも容易に寄せつけない威光に満ち、人間たちの小競り合いをかき消すほどの磁力で、空間を圧している。

第二幕には、また別の面喘息を呑むことになった。まずは冒頭。舞台中央、闇の中に大きな月が浮かびあがる。そこに人間のシルエットが重なり、この月一太鼓だつた！一を撥で叩き始める。すると下手には、黄金に光る大きなドラを後ろに控えたティンパニー奏者が登場し、マレット（撥）を振り下ろす。その間に月を打った奏者の齊藤栄一は上手の太鼓に移動し、「おのれっ」とばかりにティンパニーを睨みつけると、敵もこれに応酬。オーケストラピットに陣取る和洋楽器の奏者たちも、それぞれに加勢する。これをきつかけに闘いの火蓋が切られ、民衆たちと為政者たち、各踊り手たちの凄絶なバトルが繰り広げられる。ダンサー同士のせめぎ合いを煽り立てるように、双方の打楽器はクレッシェンドになり、ついにはオケピットにいた奏者たちが、次々に舞台上に駆け上がって楽器を打ち鳴らし、参戦し始めるではないか。



深いオケピットに隠れていた鼓童の面々の身体が観客の目に触れると、俄然躍動し始めるのを感じる。彼らはミュージシャンであるだけでなく、全身を使って自らを表現するパフォーマーなのだ。それは改めて、しかも強烈に、鼓童の得がたいアドバンテージを見せつけられた瞬間だつた。観客も同じことを感じたのだろう。カーテンコールではジローを含むダンサーたちをしのぐ、いちばんの大喝采が、彼らにおくられていた。

初演から二〇数年の時を経て、鼓童が参加したパリ・オペラ座版「Kaguyahime」は、きつと振り付けたキリアン当人にも、覚醒と確信をもたらしたのではないだろうか。鼓童が月を打ち、舞台上に溢れ出て太鼓を打ち鳴らしてこそ、石井眞木の『輝夜姫』は成立するのだ、と。

伊達なつめ (たて・なつめ) 演劇ジャーナリスト
演劇やダンスなど、古典・コンテンポラリーを問わず、内外のパフォーマンスを追いかけて取材。
著書『歌舞伎にアクセラ』(淡交社) など。



(写真：Jean-Pierre Delagarde/ Opéra national de Paris)

DATA 「Kaguyahime (輝夜姫)」

公演期間：2月1日(金)～17日(日) 14回公演
 作曲/石井眞木、指揮/ミカエル・デ・ロー、振付/イリ・キリアン
 出演：パリ・オペラ座バレエ団、招聘打楽器アンサンブル、伶楽舎(田淵勝彦/筆筈、宮田まゆみ/笙、角田眞美/龍笛)、鼓童(齊藤栄一、船橋裕一郎、小田洋介、内田依利、小見麻梨子、草洋介、荻輪眞弥)

20世紀の日本を代表する作曲家で鼓童の代表演目『モノクローム』や『入破』を作曲した故・石井眞木が『竹取物語』を題材に舞台作品として構想した作品『輝夜姫』(1984年、鼓童とベルリンドイツオペラ打楽器奏者により初演、1985年にバレエ作品として鼓童、スター・ダンサーズ・バレエ団、岡田知之合奏団、雅楽奏者により初演)に、1988年振付家イリ・キリアンが作舞し、ネザーランド・ダンス・シアターが初演、劇的な成功を納め、その後も世界各地で上演され高い評価を得ている。

鼓童の演奏感覚をリセットする

一九八四年初演にも出演している齊藤栄一に今回の公演を振り返ってもらいました。

——まずは終わっての心境はいかがですか。

栄一…ああ、終わっちゃったんだなあ…って感じ。千秋楽が終わった翌日、パリを発つ前に、もう一度ガルニエの前を通りかかったんですけど、昨日まで毎日のようにここに通っていたことが夢みたいで、もう今日からはここには自由に入れないんだって気づいた途端に、なんかやるせない気持ちになっちゃった。ガルニエの威厳ある建物が、普段はおいそれと近付くことの出来ない場所なんだと気付いて、あんなにすばらしい劇場の舞台に立たせてもらえたありがたいさを、あらためて感じましたね。

——栄一さんの作品との関わりは四半世紀以上ということになりますよね。

栄一…初演した時は、和太鼓とパーカッションの音群だけの演奏で、雅楽のパートもバレエもなくてね。それに僕らには曲についての理解も指揮者に合わせる技術も当時はありませんでした。眞木さん(作曲家・石井眞木氏)は、僕らに音楽的な要求よりも「鼓童はお肉食べて頑張張つてよ！」って。言われた通りに頑張るだけだったのね。その後、イリ・キリアンさん振り付けのバレエが眞木さんの世界に融合するのを目の当たりにして、「ああ、こんなに凄い曲だったのか! (笑)」。もう、全然笑えない。

——二〇一〇年からは三度、公演する機会に恵まれましたが、鼓童にとってこの作品の難しさはどんなところですか。

栄一…それは、普段の鼓童の舞台とはリズムの合わせ方も違うし、全く違う音楽技術が必要だということですよ。

鼓童の場合、互いの呼吸を感じながらテンポやリズムのノリ、躍動感などを出していきませんが、こういった作品ではそうはいきません。日替わりで交代するダンサーの動きに合わせて、指揮者のミカエル・デローさんがテンポをコントロールしますから、普段のノリで叩いたら、トンデモナイことになっちゃって、うちひしがれた気持ちで舞台を後にすることになる。日頃の舞台での感覚はリセットして、音楽の勢いや観客の感情の変化までもが譜面上で計算され尽くしていることを理解して、作曲家や指揮者の求める叩き方に徹することが求められるんです。今の若手メンバーがこの作品を経験できたことは、鼓童のこれからにとって良かったと思います。

——さて、今後の鼓童にはどのように。

栄一…もつと西洋打楽器を学んだり、指揮に合わせる稽古を普段から取り入れたいですね。次の機会にはしっかりと技術や知識を持って迎え撃つくらいのつもりで出来たらなあ。今回の『Kaguyahime』で感じたというか、課題として残った演奏上での窮屈さは、芸術監督の玉三郎さんがおっしゃるところの、「型に嵌った中での自在な表現」を手に入れることに繋がる一歩になったと感じました。



右/この日は、舞台上で栄一と共に演奏を繰り広げたクリストフさん(栄一の右隣)の誕生日。東西打楽器仲間が祝福。左/オーケストラピット内での稽古風景。

トピックス 吉利の中国日記

文化庁文化交流使としての中国滞在記



鼓童が中国にうかがったのは過去2回。1984年の広州公演は、公演途中でほとんどのお客様が帰ってしまったという前代未聞の事件もありました。次の2000年は北京と上海で公演。こちらはとても熱情的に迎えていただきました。あれから13年、鼓童、そして藤本吉利にとって3度目の中国訪問。なにかと不安な要素が多い中での訪中となりましたが、そんな周囲の心配をよそに、元気ハツラツで取り組んできた中国滞在。鼓童ウェブログでも紹介していますが本誌でも改めて報告いたします。

写真●李長鎖、張杰、謝妮姪、君島喜久江、藤本吉利
文●藤本吉利 構成●後藤美奈子

上海日本人学校での演奏。
大きな太鼓は持っていけなかったので、
口唱歌でエアータ鼓。
子どもたちも一生懸命みてくれました。

二／四 上海日本人学校
上海日本人学校浦東校で演奏とワークショップ（以下WS）を行いました。学校には太鼓が沢山ありました。しかし指導する人がいなくて使っていないのと、もったいないなと思いました。演奏とWSの内容は北京の学校と同じ（剣舞の笛、木遣り、登山囃子、下山囃子、生徒の手拍子の中で下山囃子の笛、エアータ鼓、みんなで共演『帆柱起し音頭』）ですが、ここでは『下山囃子』で一人の男の子に担ぎ桶をやってもらって私は笛を吹きました。観ている子達も興味を示

してくれました。WSはその場でやりた
い子を募ったので、希望者が殺到して賑
やかでした。時間に余裕があったのでメ
ンバー入れ替えをして『帆柱起し音頭』
をもう一度やりWSは終了。そして最後
の締めには『佐渡おけさ』を唄って終わ
りました。

二／五 杭州日本人学校

杭州は小雨が降ったり止んだりでした。杭州の日本人学校は中国にある日本
人学校の中で一番生徒数が少ないこのこ
と。保育園児から中学三年生まで全員で
七〇名程ではないかと思えます。この学
校にも太鼓があつてWSでは、みんなと
一緒に太鼓を叩いて盛り上がる事が出
来ました。人数が少なかったため、ほぼ
全員が交代して太鼓が叩けたと思いま
す。終演後、校長室に伺った際、校長先
生が「今日は日本の心というのを感じさ
せてもらいました。日本を離れた所にい
るから余計にそれを強く思いました」と
話してくださいました。

二／十一 北京 鼓樓見学

故宮、景山公園、鼓樓を見学しました。
鼓樓は大きな建物で太鼓を鳴らすことに
よって、時報の役割を果たしていました。
鼓樓に入場、急な階段を上り詰めたこ
ろに、大きな赤い太鼓が沢山並んでい
ました。私は嬉しくて飛び上がる様な気
分になりました。案内板には二五面の太
鼓があり、一番大きいのが面の直径一・
六メートル、小さいのが一・二メートル



全部で25面あるという太鼓群。北京市内 鼓樓にて

文化交流使とは

文化交流使は文化庁が行っている事業
で芸術家、文化人、研究者等、文化に携わ
る方々を一定期間「文化交流使」に指名し、
日本文化への理解の深化、日本と外国のネッ
トワークづくりを目指すものです。伝統音
楽や舞台芸術、生活文化やポップカルチャー
などの多様な分野から選出され、諸外国で
日本文化に関する実演、実技指導、講演、デ
モンストレーション、ワークショップ等を行いま
す。

この度、鼓童より藤本吉利が中国へ、小島
千絵子がスペインへ派遣されました。小島
千絵子は三月半ばに帰国予定です。
ホームページの鼓童ウェブログにも交流の様
子がカラー写真満載で報告されています。
そちらもぜひみてください。

[http://heartbeat.cocolog-nifty.com/
kodo_blog/](http://heartbeat.cocolog-nifty.com/kodo_blog/)



3点とも陝西省延安市安塞
「安塞腰鼓」の演舞。土埃は演出効果満点です。



「帆柱起こし音頭」で共演。



太鼓を持っていただいの演奏。

腰鼓』の地元、安塞に向かいました。山
立っています。市内でカメラマンの、謝

二／十五 陝西省延安市安塞

が盛んなところ。小さい太鼓を腰
につけて演舞すること有名な『安塞
腰鼓』の地元、安塞に向かいました。山
立っています。市内でカメラマンの、謝

太鼓二五面のうち、真ん中の大きいのは太陽を意味し、他の二四面の太鼓はそれぞれ別の時を意味していると係の青年が教えてくれました。太鼓はすべて木を桶のように組み合わせて作られています。昔、鼓楼として実際に使用されていた頃の太鼓も同様であったとのことでした。その古い太鼓がひとつだけ飾られていました。皮はなく、楕円形に変形し木肌のままとなった、明らかに桶胴と分る太鼓でした。

と書いてありました。約五尺三寸と四尺
という事です。すごくいいでしょう。同
行してくださった君島喜久江さんが係の
若い青年に「この人は日本で一番の太鼓
打ちだから太鼓を叩かせてもらえない
か」と交渉してくださいましたが、それ
はもちろん、だめでした。毎日決まった
時間に太鼓ショーが鑑賞出来ます。五人
の若い男性が一行に並んで登場して太鼓
を叩きました。全員、音楽大学の学生で
あるとのこと、短いバチで技巧的な演奏
内容でした。

お世話になりました。心から感謝申し上
げます。

◆◆◆
今回の訪中に関しては、沢山の皆様
に

に、私も演奏しました。

二／十七 陝西省榆林市
二〇〇〇年に鼓童が北京で公演した際
に出会った、張聖宝さんを訪ねました。
延安から榆林までは北へ二五〇キロ、車
で三時間かかりました。張聖宝さんは芸
能プロダクションを経営されていて立派
な事務所の横には劇場もありました。劇
場内の客席はテーブル席になっていて食
事をしながら舞台を楽しめるようになって
います。集まってくれた若者達の踊り
のパフォーマンスを見せてもらったあと

感謝です。
皆さんの演舞を見せていただいた後、
木遣り、登山囃子、下山囃子、笛、太鼓
を持ってもらって大太鼓を演奏。最後は
帆柱起こし音頭で共演し、安塞腰鼓と担
ぎ桶で感動の共演を行いました。皆で交
流しながら野外での食事会もしていただ
きました。最後の最後に腰鼓にも挑戦し
ました。嬉しかった。楽しかった。そし
て、燃えました。最高でした。皆々様に



腰鼓にも挑戦。延安市安塞



公園に並んでいた太鼓。延安は太鼓が盛んな
所だからだと思います。延安市



春節を祝う太鼓の飾り。太鼓の胴に提灯が付けられてい
て、夜になるとまた本領を發揮します。延安市



30周年記念本「いのちもやして、たたけよ。」企画編集を担当。この本作りで鼓童メンバーの舞台作りの苦悩、達成感を疑似体験した気分。本を手にした時は震えました。「できたあ〜!」と叫んだ瞬間、皆がくれた拍手が嬉しかったです。



2年目に「KODO[01] (ゼロワン)」宣伝担当としてポスター撮影をコーディネート。当時新進気鋭の写真家川内倫子さんが撮影。「生命の波打ち際のドラマ」がテーマ。早春の、まだ凍てつく寒さの中で、全員で夜明け前の素浜海岸で不眠不休で頑張った渾身の一枚。

プロフィール

洲崎純子(すさき・じゅんこ)

1964年生まれ。東京都出身。某企業の人事部門で採用や社員研修等の業務に携わった。1999年にECアルバイトとして佐渡へ。2000年よりスタッフ。広報宣伝業務を中心に担当、現在は(株)北前船広報宣伝部長、「月刊鼓童」「eNews」編集長。

主な仕事内容

鼓童に関する情報発信、広報宣伝計画、宣伝素材選定、文章執筆、マスコミ対応(プロモーション・取材)、宣伝物製作(印刷物や写真映像等)、「月刊鼓童」「eNews」「いのちもやして、たたけよ。」公演パンフレットなどの企画編集、基本情報・アーカイブス・予算管理など。

佐渡での暮らし

シンプルに生きることを求めていることに気付いた。夕焼けと星空と暗闇が絶品。魚は自分でさばく。家賃がとってもしずナブル。かなり運動不足。まだ鼓童を通じて佐渡しか触れておらず、知らないことが山ほどある。

～お話ししよう、スタッフのこと。第1回～

内なる太鼓を響かせよう

鼓童に来る人たちは舞台志望が多いけれど、演奏以外にも、さまざまな役割があるんです。舞台上で太鼓はたたかないけれどそれぞれの「内なる太鼓」を響かせ鼓童の活動に励むスタッフの仕事にスポットを当ててみます。では、まずは私から…

広報宣伝 洲崎純子

なんだかんだで早くも十四年になります。鼓童を知ったのは、当時すでに前職を十数年経験して、次のステップを模索している時でした。「太鼓の凄い舞台」としか教えてくれない友人に連れられECに来て、初めて存在を知りました。

「知らなかった、なぜ知らなかったんだろう、伝えなきゃ!」そんな衝動。人の心にダイレクトに伝わりポジティブに揺さぶる仕事。舞台上に立ちたい!ではなく参加するならスタッフとして伝えたい! ECで深刺と働くスタッフの姿に、なにか、この道に自分を導くものを感じたといましようか…。

鼓童塾にも参加しました。鼓童を音楽の興味で見ているところから、ここで太鼓の不思議、人と人をつなぐ力に出会いました。その時、スタッフのひとりに「何か私に貢献できることがあるでしょうか」と、熱く思いの丈を伝えることを覚えています。ただし塾長の栄さんには止められましたね。「鼓童塾は非日常なんだから」と。

大寒波の真つただ中、EC長期アルバイトとして佐渡に渡りました。東京暮らししか経験のない私でも移り住むことには、さほど躊躇はありませんでした。芸能の世界も研修生の苦労も知らない都会のOLは、栄さんの言うとおり、初めて経験する芸能界と共同生活に、ここがパラダイスではないことに気づくわけなんです。(笑) しかしそれ以上に、自分の十数年の社会人経験も、「なんて狭い世界だったんだろう」と気づかされました。

秋、初めてのツアー同行。その旅先に、突如「CD発売にあたり、あなたを『宣伝切り込み隊長』に任命します!」という青木事務局長(当時)からのメールが。これが今の役割の始まりです。鼓童の公式情報を作つて発信したり、マスコミや外部からの問い合わせや取材に対応したり、PRにまわったり。撮影コーディネイトに、パンフレットや紹介ツールの作成に、時にはインタビュー取材もします。坂東玉三郎さん、ミッキー・ハートさん、キム・ドクスさん…ここにいなければ決して接する機会などなかった方々。そして緊張した順に、とても印象に残っています。

広報宣伝担当になって当初、自分の中に体験の蓄積がなくて、自分の言葉を持っていないことは、何だかとても大きな欠落感でした。ツアーマネージャーを何度かやり、過去を知るために膨大な資料や写真にあたり、活動理念を文章化するプロジェクトにも参加したりして、パズルのピースを集めるようにして、少しずつ自分の言葉を得ていった気がします。

「太鼓で何を表現するのか」。舞台上立つ人達が自問自答するように、この仕事も同じ。私は何を伝えたいのか。今でもその問いかけを繰り返しています。この二月はパリに行き、「Kagayamine」で鼓童の海外での創造現場とその反響を体感しました。どんどん細胞分裂するように脈打つ舞台と、未来への道筋をつくるスタッフのダイナミックな働きを改めて目撃しました。これからは、後輩達と一緒に鼓童のメッセージを紡いでいこう。この分野にこれからも関わりたいと思っています。



2011年、鼓童結成30周年ツアーではロビーに幟を飾った。書き込まれているのは、全国各地で公演を主催して下さった皆さんからの祝福と熱い激励メッセージ。



新商品として、手ぬぐいを折り紙のように折って鼓童の半纏の形に作る「折り紙はんでん」を企画。このほかにも、演奏者が使用しているサイズのバチの企画や、篠笛もオンラインストアで購入できるようにした。

プロフィール

松浦充長(まつうら・みつなが)

1974年生まれ。愛媛県出身。1996年に研修生、1997年から2007年まで舞台に立つ。鼓童に入る前は、調理師として1年働いていた。国内制作業務を中心に担当、現在は(株)北前船 国内営業制作二部部長。

主な仕事内容

特に交流学校公演・ソロ小編成公演の企画、営業、出演交渉、ツアースケジュール調整、予算管理、自主公演の企画運営、ツアーに必要な各種手配、演奏者のケア、ツアー同行、劇場での接客など。

佐渡での暮らし

佐渡で家族3人暮らし。ツアーから帰ってくると、息子(2歳)が教えてもいないのに太鼓を叩くまねをしたり、扇子を持って踊りのまねをしている。「いつの間に覚えたの?」佐渡に住んでいるから鼓童の生の演奏を聞く機会が多い。環境が子どもを育てるんだな〜と実感している。最近は、お父さんの仕事は鼓童と言うようになった。でも、「たまに来てお土産をくれるおじさん。」にはならないように心がけている今日この頃。

国内制作 松浦充長

最近、お客様が「あなたがいるとロビーが明るくていいわ」と声を掛けてくださった。

佐渡に渡って十七年が経とうとしている。研修所を卒業し、十年程舞台に立ち、スタッフへ。スタッフになるなんて思ってもいなかった。舞台を降りた時点で鼓童をやめようと思っていたところ、「スタッフにならないか?」と声をかけられた。

最初の仕事は演奏者の時から担当していた体調管理だった。当時は体調管理は演奏者任せだったため、ツアー中に風邪が流行ればすぐ広まり、ケガや体調を崩す人も多かった。トレーナーの勉強に行かせてもらい、プロのトレーナーの方のアドバイスで環境を改善して、時間はかかったが程度、仕組みができたところで、今度は販売部に行くことになった。鼓童グッズや楽器の商品企画・商品管理・販売とまったく経験したことのない仕事だったが、お客様の声や売上げなどで公演の反響が直にわかることが新鮮だった。お客様から注

文をいただいた時に「公演を観たの。すごく良かったからDVDを友達に勧めようと思う」「アンコールで演奏した曲が入っているCDが欲しい」「鼓童で使っている篠笛が欲しい」と、公演が良かったことが電話口で伝わってくる。お客様が鼓童の公演を観て、その後で少しでも余韻に浸ってもらえるような商品を考えて。商品にクレームをいただいた時は、精一杯対応をすることで、直接「松浦さん、お願いします」と名前を呼んでいただくことも多くなってきた。お客様の目を引くよう値札や掲示物を工夫したり、次の新商品を考えていた矢先、今度は制作部へ。

制作は、演奏以外の公演に関わるすべてを担当する部署。演奏者、ご主催、お客様の間を取り持つのが仕事。演奏者としての経験、部門を渡り歩いた経験が、自分としては制作の仕事の土台になった。営業に出かけ、公演が決まると打ち合わせをし、宿泊先や交通の手配。稽古スケジュールやツアースケジュールなども管理するし、手が足

りなければ食事も作る。佐渡の事務所にいるときは右手に電卓、左手に携帯、目の前のパソコンと睨めつこの生活を送る。しかし、2ヶ月通して佐渡に居るのは四月、八月、十一月ぐらい。鼓童の制作の仕事は常にツアーともにもある。ロビーでお客様をお迎えするところから制作としての本番が始まる。「いらつしやいませ」「間もなく開演でございます」本番中は客席内や舞台上でトラブルがないか目を凝らし、休憩中はグッズの販売。終演後は、お客様をお見送りする。

冒頭の言葉は、終演後帰っていくお客様からいただいた。予想もしていなかった言葉だった。あるお客様からは「お子さんが産まれたんですつて、おめでどう」演奏者でもない自分になんて言ってくれる常連の方。鼓童のお客様はどこか温かい。そう感じたのは正直なところ、スタッフになってからだった。舞台に立っていた頃は演奏することに精一杯だった。そんな日々のお客様の雰囲気や演奏者に伝えることは、今の自分の大事な役割だと思っている。

鼓童の公演を観る

浅草へ行こう

第一回

鼓童
ワン・アース・ツアー-2013
～伝説

6/6(木)～9(日)

東京都台東区 浅草公会堂

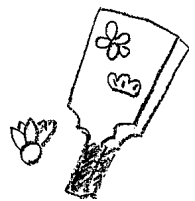
13:30開場 14:00開演

S席7,000円A席5,000円

全席指定

未就学児の入場は不可
問)tvkチケットカウンター

Tel. 0570-00-3117



鼓童が浅草で三〇年ぶりに公演を行います。しかも四日連続公演。…とくればいかにわけにはいかない!

江戸時代、歌舞伎の一大拠点として栄え、関東大震災や東京大空襲にも見舞われましたが、その度に復興し、芝居小屋や映画館が建ち並び「日本のブロードウェイ」と称される程の繁栄を極めた浅草界隈。そこかしこにある当時の名残や老舗の数々を、鼓童公演と合わせて楽しんでいただきたいと思っています。

せっかくの浅草、自分だけのお気に入りを見つけただけです。よう、メンバーや地元の方々三回に渡っておススメやお気に入りを紹介していただきます。



宮崎正美(舞台メンバー)のおススメ

黒田屋本店

雷門のすぐ横にある和紙屋さん。和紙のハガキやレターセット、折り紙等は勿論、小物、人形、装飾品…とにかく色んな和紙製品があります。色や模様が綺麗で、見ているだけで大満足。毎回お気に入りがあると、何に使うかあてもないまま思わず購入してしまうのです。しかし、案外、プレゼントの包装やイベントの装飾に、ふと役立つてしまうからやめられない!

江戸趣味小玩具 助六

仲見世通り、浅草寺から二軒目のお店。小さい人形がずらりと並んでいます。日本の古き良き時代を再現しているような…。とても細かい描写がされており、これまたただ見ているだけで飽きません。思わずカメラを向けたくなるけれど、撮影禁止です。これは浅草に行く、現物を見なければ。
※こちらのお店は「江戸の縁起物」浅草仲見世助六物語」という単行本になっています。

辻小夜(スタッフ)のおススメ

甘味茶房 菊丸

なぜか浅草に来ると、『甘味』が食べたくなります。ここはその欲望を満足させてくれること間違いなし! あんみつ、ぜんざい、等定番からオリジナルあんみつもオススメ。浅草公会堂から少し歩きますので、ちようどいい休憩場所になりますね。
<http://kaminidokoro-kikumaru.com/>



榎橋美奈子(スタッフ)のおススメ

「アミューズミュージアム」

布文化と浮世絵というコンセプトの小さな美術館。この常設展の[BORO]がすごい。青森県内で使われていたという襦袢(はぼろ)布は、見事なまでに繕い継ぎ足され、圧倒的な存在感でそこに佇んでいます。人々の営みの厳しさ、と美しさと、その時代から百年もたっていないであろう時間の流れに驚愕し、一歩外に出て溢れるモノの多さに打ちのめされます。
入館料 一般千円 / 大・高生八百円 / 中・小学生五百円 開館時間: 10時～18時

浅草のことは浅草のブログにも聞いてみよう!

今回の公演は「セグラスツーリズム」という浅草で着地型の観光旅行を提案する旅行代理店のみなさんと一緒に進めています。セグラスならではの企画、どうぞご参加ください。
※先行予約で公演チケットをご購入の皆様へはチケットにご案内を同封しています。

鼓童公演+ランチクーポンセット

美味しいお店が多いと聞くけど、どこがお勧めなの? という方に朗報。浅草を代表する二二店の有名店でお使いいただけるランチクーポンをご用意しました。二千円以上の内容のメニューを各店でご利用し、ランチセットでお楽しみいただけます。事前予約は不要ですが、お店によってはお並びいただくことがあります。

鼓童公演+浅草ガイド&スカイツリー搭乗(各日四〇名様)

年中お祭りのような街、浅草は見所がたっぷりです。公演終了後、ガイドによる浅草のご案内となかなか手に入らないスカイツリーの搭乗券をセットにできました。一歩横道に入れば江戸時代の情緒が感じられる奥深さをお楽しみいただけます。スカイツリーまでは公共交通手段にて移動していただきます。(スカイツリーに搭乗後は解散、交通費実費は各自負担)

料金などはお問い合わせください。鼓童サイトでもご案内いたします。

【お申し込み方法】

お電話にてお申し込みください。お申し込み後に、振り込みのご案内を送付、当日引き換えになります。

申込先: 「30坪の秘密基地 鼓童係」

電話: 03-55830181 30(午前10時～午後六時)

東京都台東区雷門一十四一六 黒澤ビル二階

KODŌ 公演情報

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(2月27日現在)

ワン・アース・ツアー ～伝説 2～3月 アメリカ

鼓童サイトの公演スケジュールのページから各公演会場の情報サイトにリンクしています。どうぞご利用ください。

3/14 (木) オハイオ州コロンバス
Palace Theatre
19:00 開場 20:00 開演

3/16 (土) ワシントン DC
DAR Constitution Hall
19:30 開場 20:00 開演

3/18 (月)
ウェストバージニア州モーガントウン
West Virginia University Creative Arts Center
18:45 開場 19:30 開演

3/20 (水)
ペンシルバニア州イーストン
Lafayette College - Williams Center for the Arts
19:30 開場 20:00 開演

3/22 (金)
ニュージャージー州プリンストン
McCarter Theatre
19:30 開場 20:00 開演

3/24 (日)
ニュージャージー州ニューアーク
Prudential Hall - New Jersey Performing Arts Center
15:30 開場 16:00 開演

3/25 (月)
ペンシルバニア州フィラデルフィア
Kimmel Center for the Performing Arts - Verizon Hall
19:00 開場 19:30 開演

3/27 (水) コネチカット州ストアーズ
Jorgensen Center for the Performing Arts - University of Connecticut
19:00 開場 19:30 開演

3/29 (金)
ニューヨーク州スケネクタディ
Proctor's Theatre
19:30 開場 20:00 開演

船橋裕一郎、小田洋介ゲスト出演
響 sato-oto 太鼓フェスティバル
in SEIRO vol.6

3/17 (日) 新潟県北蒲原郡

聖籠町文化会館
出演:聖籠太鼓「響 sato-oto」
13:00開場 13:30開演
前1,000円 当1,200円 自
未就学児は入場できません
チケット発売中。メールでも受付します。
問) 聖籠町町民会館
Tel. 0254-27-2121
Email: satooto@van-rai.net
http://www.van-rai.net/satooto/

小編成

龍言 越後シルクロード 龍鼓八海に響く

3/22 (金) 完売

新潟県南魚沼市
温泉御宿「龍言」 大宴会場「無事庵の間」
18:00開場 18:30開演
(鼓童出演は18:30～19:30の予定/出演:山口幹文、船橋裕一郎、小田洋介、内田依利、蓑輪真弥)
問) 龍言イベントデスク
Tel. 025-773-2222 (9:00～18:00)

小編成

ぶんきょう交流公演

文京シビックに鼓童がやってくる!

3/30 (土) 東京都文京区

文京シビックホール 小ホール
14:30開場 15:00開演
2,000円(税込) 指
※5歳から入場可 チケット発売中
問)シビックチケット Tel. 03-5803-1111
(10:00～19:00 土・日・祝休日も受付)

小島千絵子

「桜・舞・道成寺」にてゆきあひ～清姫～

出演:小島千絵子、木村俊介、西野貴人、池上眞吾、西田ひろみ、池田安友子

3/31 (日) 和歌山県日高川町

道成寺 境内特設舞台
13:00開演
500円 チケットはコレクトサービスでお送り

することが可能です。
問) おいでよ! 日高実行委員会 (和歌山県日高川町役場まちみらい課内)
Tel. 0738-22-2041

千絵子流女打ち講座 ～しなやかに、そして舞うように～

4/14 (日) 東京都目黒区

太鼓の里 響和館(目黒区五本木2丁目15-9 秀永ビルB1)
①基本・入門編(120分) 11:00～13:00 受講料6,300円
②基本・ステップアップ編(180分) 14:30～17:30 受講料9,450円
※会員でない方は響和館会員登録が必要です(登録料525円)
パチは長さ40cm、太さ2.2cm程度が適しています。レンタル有り。
定員各講座10名
問) 太鼓の里 響和館
Tel. 03-3714-2774 (11時～17時)
Fax. 03-3714-2775
kyouwakan@aroma.ocn.ne.jp
http://www.asano.jp/kyouwakan/

desnudo Vol.10 ～鼓童×FLAMENCO

出演:鍵田真由美、佐藤浩希、鼓童(吉井盛悟、坂本雅幸、前田剛史)ほか

4/15 (月) -17 (水)

東京都渋谷区
MUSICASA (ムジカーザ)
15日 19:00 開演
16日 14:00 開演、19:00 開演
17日 14:00 開演 (各回 30分前開場)
前・当共 5,000円(税込) 自
チケット発売中 未就学児入場不可
問・予約) チケットスペース
Tel. 03-3234-9999

4/17 (水) 東京都渋谷区

MUSICASA (ムジカーザ)
18:30 開場 19:00 開演
(主催:ムジカーザ/第104回ムジカーザコンサート)
一般4,000円 学生2,000円(パーティ付き一般7,000円 学生3,500円) 自
チケット発売中 未就学児入場不可
問・予約) ムジカーザ
Tel. 03-5454-0054

(2月27日現在)

鼓童 佐渡特別公演2013 — 春 —

出演：藤本吉利、小島千絵子、
山口幹文、齊藤栄一ほか

4/26(金)-5/6(月・振休)

4/30(火) 休演 全10回公演

新潟県佐渡市

宿根木公会堂

14:30開場 15:00開演 16:00頃終演

前 大人3,500円 子ども1,500円


当 大人3,800円 子ども1,800円

子どもは4歳～小学生。

3才までの乳幼児は無料。

鼓童の会会員価格(前売りのみ)

大人3,000円 小人1,000円

各回定員約150名 

発売中

特別ワークショップ(WS)

先着順に受付中です。各3,000円

① 4/28(日) 19:00～21:00

小島千絵子／千絵子流女打ちの基本

定員20名 対象:中学生以上の経験者
会場:佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)

② 4/29(月・祝) 9:30～11:30

藤本吉利／あなたも太鼓打ちに

定員20名 対象:中学生以上
会場:佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)

③ 5/4(土・祝) 19:00～21:00

齊藤栄一／お気軽太鼓教室

定員20名 対象:小学5年生以上
会場:佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)

④ 5/5(日・祝) 9:30～11:30

山口幹文／篠笛口座～より良い音を求めて～

定員10名 対象:中学生以上の経験者
会場:宿根木公会堂

問) 公演、WSとも 鼓童チケットサービス

Tel. 0259-86-2330

(月～金／9:30～17:00)

公演チケットや宿泊パック

佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)

Tel. 0259-86-2320

(月曜休／9:00～17:00)

ワン・アース・ツアー ～伝説 5～6月

5～6月のワン・アース・ツアー公演のチケットはすべて発売中です。

5/8(水) 茨城県取手市

取手市民会館

JR常磐線「取手」駅より徒歩13分

18:00開場 18:30開演

5,000円 

未就学児の入場は不可

問) 取手市民会館

Tel. 0297-73-3251


5/10(金) 静岡県三島市

三島市民文化会館

JR「三島」駅南口より徒歩3分

18:00開場 18:30開演

一般4,800円

高校生以下3,000円 

未就学児の入場は不可

問) イーストン Tel. 055-931-8999

三島市民文化会館

Tel. 055-976-4455

5/12(日) 愛知県豊川市

豊川市文化会館大ホール

名古屋鉄道豊川線「諏訪」駅より徒歩

15分、名古屋鉄道本線「国府」駅より車で15分、JR飯田線「豊川」駅より車で10分

17:30開場 18:00開演

S席5,000円 A席4,500円

当日は500円増し 

5才児(年長)未満の入場は不可

問) 恵の実後援会

Tel. 0533-65-9801


5/16(木) 長野県松本市


まつもと市民芸術館・主ホール

JR「松本」駅より徒歩10分

18:30開場 19:00開演

S席5,000円 A席4,500円

B席3,000円 C席2,000円 

未就学児の入場は不可 

問) テス・カルチャーセンター

Tel. 026-223-8875

5/18(土) 京都府京都市


京都芸術劇場 春秋座


叡山電車「茶山」駅より東へ徒歩10分

17:30開場 18:00開演

一般5,500円

シニア(60歳以上)5,000円

学生&ユース(25歳以下)2,000円 

3歳未満の入場は不可 

問) 京都芸術劇場チケットセンター


Tel. 075-791-8240

5/19(日) 大阪府高槻市

高槻現代劇場大ホール

JR「高槻」駅より徒歩12分、阪急「高槻市」駅より徒歩5分

18:00開場 18:30開演

一般4,000円 学生2,000円 

未就学児の入場は不可

問) 高槻現代劇場 Tel. 072-671-9999


5/23(木) 富山県富山市

オーバード・ホール

(富山市芸術文化ホール)

JR「富山」駅北口正面

18:15開場 19:00開演

一般5,000円 

学生(小～大学生 当日座席指定)2,000円

未就学児の入場は不可

問) アスネットカウンター


Tel. 076-445-5511

5/25(土) 新潟県新発田市

新発田市民文化会館

JR「新発田」駅より徒歩約18分

18:00開場 18:30開演

前5,000円 当5,500円 

未就学児の入場は不可

問) 鼓童 in 新発田公演実行委員会


Tel. 080-9541-6565

5/26(日) 新潟県南魚沼市

南魚沼市民会館 大ホール

JR「六日町」駅より徒歩10分

18:00開場 18:30開演

前5,000円 当日5,500円 

未就学児の入場は不可

問) (公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社

Tel. 025-773-5500

5/28(火) 神奈川県横須賀市


よこすか芸術劇場

京急線「汐入」駅前。JR「横須賀」


駅より徒歩8分

18:00開場 18:30開演

S席4,500円 A席3,500円

B席2,500円 

学生(24歳以下)は各席種50%引き

3歳未満の入場は不可 

問) 横須賀芸術劇場 電話予約センター

Tel. 046-823-9999

託…託児あり 先…鼓童の会会員先行予約あり 指…全席指定 自…全席自由

(2月27日現在)

5/29 (水) 神奈川県相模原市
 グリーンホール相模大野 大ホール
 小田急線「相模大野」駅北口より徒歩4分
 18:30 開場 19:00 開演
 4,500円
 学生(25歳以下) 3,000円 指
 未就学児の入場は不可 託
 問) チケット Move Tel. 042-742-9999

6/1 (土) 群馬県甘楽町
 甘楽町文化会館
 JR「高崎」駅より車で約30分。上信
 電鉄「上州福島」駅より車で約10分
 18:00 開場 18:30 開演
 前4,500円 当日500円増し 指
 未就学児の入場は不可
 問) 甘楽町文化会館
 Tel. 0274-74-7000

6/2 (日) 埼玉県さいたま市
 大宮ソニックシティ 大ホール
 JR「大宮」駅より徒歩3分
 17:00 開場 17:30 開演
 5,500円 指
 未就学児の入場は不可
 問) 東京音協 Tel. 03-5774-3030
 埼玉音協 Tel. 048-647-4100

6/6 (木)-9 (日) 東京都台東区
 浅草公会堂
 銀座線「浅草」駅1番・3番出口 徒歩5分。都営浅草線「浅草」駅A4出口 徒歩7分
 13:30 開場 14:00 開演
 S席7,000円 A席5,000円 指
 未就学児の入場は不可
 問) tvk チケットカウンター
 Tel. 0570-00-3117

**小編成
愛太鼓フェスタ2013**

出演:船橋裕一郎、小田洋介、坂本雅幸、内田依利、小見麻梨子、草洋介、蓑輪真弥

5/26 (日) 愛媛県宇和島市
 南予文化会館
 (宇和島市中央町2丁目5番1号)
 12:30開場 13:00開演
 前・当共 一般2,500円
 高校生以下1,500円
 チケット発売中

※未就学児は、膝の上での鑑賞なら無料。お席を確保する場合は、チケットのご購入が必要です。
 申込・問) 愛太鼓フェスタ実行委員会
 津島太鼓集団 雅(宇和島市:田中)
 Tel. 090-2782-4792
 松野鬼城太鼓 (松野町:毛利)
 Tel. 090-5270-7158
 和太鼓集団 雅組(八幡浜市:矢野)
 Tel. 090-4783-6780

**坂東玉三郎◇鼓童
「アマテラス」**

7/4 (木)-28 (日) 東京都港区
 赤坂 ACTシアター
 東京メトロ千代田線「赤坂」駅徒歩1分
 開演時間は以下の7月のカレンダーをご覧ください
 S席13,000円 A席9,000円
 B席6,000円 指
 未就学児の入場は不可
 問) チケットスペース Tel. 03-3234-9999
 (月~土、10:00~12:00/13:00~18:00)

2013年7月 アマテラス 開演時間

日	月	火	水	木	金	土
				4:	5:	6
				18:30	14:00	14:00
7	8	9	10	11	12	13
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	休演	16:00
14	15	16	17	18	19	20
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	休演	16:00
21	22	23	24	25	26	27
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	18:30	14:00
28						
14:00						

9/5 (木)-29 (日) 福岡市
 博多座
 地下鉄「中洲川端」7番出口直結
 開演時間は以下の9月のカレンダーをご覧ください
 A席15,000円 特B席11,000円
 B席8,000円 C席5,000円 指
 未就学児の入場は不可
 7/20 (土) チケット発売
 (7/20は電話予約・インターネット発売のみ)
 問) 博多座電話予約センター

Tel. 092-263-5555
 (10:00~18:00/日・祝日も受付)

2013年9月 アマテラス 開演時間

日	月	火	水	木	金	土
				5:	6:	7
				14:00	18:00	14:00
8	9	10	11	12	13	14
14:00	14:00	14:00	14:00	休演	18:00	14:00
15	16	17	18	19	20	21
14:00	14:00	14:00	14:00	休演	18:00	14:00
22	23	24	25	26	27	28
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	18:00	14:00
29						
14:00						

10/5 (土)-27 (日) 京都市
 南座
 問) 南座 Tel. 075-561-1155

**鼓童 佐渡特別公演2013
- 夏 -**

出演:藤本吉利、小島千絵子、山口幹文、宮崎正美、立石雷ほか

7/13 (土)-21 (日)
 7/17 (水) 休演 全8回公演
新潟県佐渡市
 宿根木公会堂
 14:30開場 15:00開演 16:00頃終演
 前 大人3,500円 子ども1,500円
 当 大人3,800円 子ども1,800円
 子どもは4歳~小学生。
 3才までの乳幼児は無料。
 鼓童の会会員価格(前売りのみ)
 大人3,000円 小人1,000円
 各回定員約150名 指
 5月発売予定

鼓童からのお知らせ

鼓童グッズ 半纏パーカー 枚数限定発売中

鼓童半纏パーカー

鼓童半纏パーカーを作りました。枚数限定です。

インナーとのコーディネートが楽しめる、フルジップのパーカー（スリムフィット）に、特殊シートを鼓童の半纏柄に転写して仕上げました。柔らかい風合いと色合いが特徴です。

鼓童ツアーTシャツ・バーガンディ

前面に「鼓童」のロゴ、背面に「KODO ONE EARTH TOUR」とシンプルなデザイン。ツアーTシャツ2012（黒色）の色違いです。

笛袋再入荷

好評をいただいております。好みをいただいておりました。ご希望が多かった3色を揃えました。六・七本調子の笛に合うサイズです。

生地を選定から留め爪の形に至るまで、鼓童の笛奏者・山口幹文の企画によるものです。お客様の様子を、大切にお守りいたします。

鼓童グッズ 春の新商品 発売中

鼓童半纏パーカー「枚数限定」

価格：10,000円 ※鼓童の会会員価格なし

色：紺、グレー

素材：「紺」綿75%、ポリエステル15%、レーヨン10%

「グレー」綿65%、ポリエステル25%、レーヨン10%

サイズ：M、L、XL

鼓童ツアーTシャツ・バーガンディ

価格：3,000円 鼓童の会会員価格：2,700円

シャツ色：バーガンディ プrint色：白(抜染プリント)

素材：綿100% サイズ：S、M、L

笛袋(六・七本調子用)

価格：各3,500円 ※鼓童の会会員価格なし

縫製：齊藤直美(鼓童スタッフ)

留爪制作：齊藤栄一

色：墨染め・龍/洗朱/白色

素材：[表地]綿、[裏地]綿、

[留め紐]組紐、[留め爪]煤竹

適応サイズ：笛の長さ40cm～49cm

価格はすべて税込みです。

お求めは便利な「鼓童オンラインストア」で

<http://kodo.or.jp/store/>



鼓童
ツアーTシャツ



前



後

鼓童半纏パーカー
これからの季節にピッタリ

鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで
Tel. 0259-86-3630 (販売部)

テレビ放送のお知らせ



昨年十月に香川県琴平町の旧金毘羅大芝居(金丸座)で行われた「坂東玉三郎特別公演」がWOWOWプライムで放送されることになりました。第二部の地唄舞「雪」と「鐘ヶ岬」の静寂に包まれた幽玄の世界と、第二部の鼓童も出演した「いぶき」のダイナミックな世界。ぜひ番組でお楽しみください。

坂東玉三郎の宇宙 PART2 金丸座「雪」「鐘ヶ岬」「いぶき」

放送日：3月16日(土) 17:45～19:45

再放送：4月2日(火) 22:45～0:45

※約2時間の番組です。

※加入者のみ視聴できます。

お詫びとお知らせ

先月号に掲載した写真で、撮影者のお名前に漏れがありました。お詫びの上、お知らせいたします。

8ページ掲載：Alain Scherer (小島千絵子の写真)

鼓童文化財団からのお知らせ

鼓童 佐渡特別公演2013 - 春 - を観る佐渡ツアー

■ 東京発 / 2泊3日ツアー

公演鑑賞可能日: 4/26 (金)、4/29 (月・祝)、5/2 (木)、5/6 (月・振休) の4日間(鑑賞は2泊3日の2日目)

ツアータイトル: 佐渡島大自然周遊3日間 鼓童特別公演鑑賞プラン

内容: 東京から新幹線(往復)、カーフェリー(往復)で移動し、トキふれあいプラザや佐渡金山など外せない佐渡の名所を訪ね、内海府&外海府巡りで自然を満喫できる宿泊付きのプランです。

出発: 東京駅発 泊数: 2泊3日 宿泊: 両津温泉郷

料金: 39,800円～46,800円(大人1人 / 2～5名様一室)

問: JTB旅物語販売センター Tel. 03-6902-5555

※お申し込みの際「コース番号M7566-5の鼓童特別公演鑑賞プランに関して」とお伝えください。

■ 石川発 / 日帰りツアー

公演鑑賞可能日: 4/28 (日)、5/2 (木)、5/4 (土・祝)

ツアータイトル: 「鼓童」佐渡特別公演 ゴールデン佐渡島～魂の太鼓音～

内容: 石川県内(加賀・小松発、金沢経由)から出発し、直江津港利用の日帰りバスツアー。公演の他、砂金採り体験、宿根木の散策などが楽しめるお得なプランです。

出発: (1) 4/28 (日)、5/4 (土・祝)小松駅発(金沢駅経由)

(2) 5/2 (木)加賀温泉駅発(小松駅～金沢駅経由)

泊数: 日帰り(宿泊なし)

料金: 大人15,900円(お一人様)※お食事: 昼食付

問: 北日本観光旅行 Tel. 076-266-2533 (代)

<http://www.kitanippon-kanko.co.jp/higa/index.html>

【たたこう館】太鼓・シーカヤックの体験と昼食付温泉ツアー

日時: 4月20日(土)～9月29日(日)の間「毎週土・日・祝日」

(8月24日(土)、25日(日)を除く)

料金: 大人7,000円 小人6,000円

申込締切: 実施日3日前 定員: 20名(最少催行 2名)

行程: 9:30集合・小木ダイビングセンター(注意・諸説明～シーカヤック体験～昼食)→*移動→佐渡太鼓体験交流館(太鼓体験)→*移動→かもめ荘(入浴) 15:30終了 *移動手段は各自ご手配ください。

用意するもの: 水着、ビーチサンダル、着替え、入浴用品

問・申込受付: 佐渡観光協会 Tel. 0259-27-5000

※佐渡太鼓体験交流館でもお申込み可能 Tel. 0259-86-2320

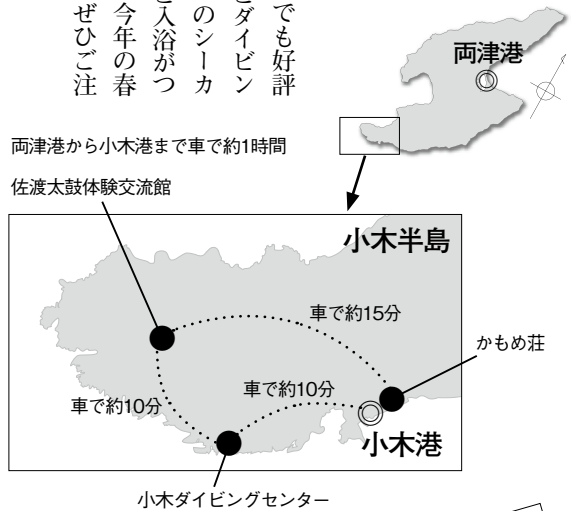
「鼓童 佐渡特別公演2013」鑑賞ツアーと
太鼓・シーカヤック体験ツアー

鼓童 佐渡特別公演2013 - 春 - を観る
東京発・石川発のツアー

「鼓童佐渡特別公演2013 - 春 -」の公演鑑賞を含む佐渡の観光・宿泊ツアーが組まれることになりました。お得で気軽にお越しいただける機会です。詳細は各旅行会社にお問い合わせください。

「たたこう館」太鼓・シーカヤックの体験と昼食付温泉ツアー

昨年のアース・セレブレーションでも好評だった、透明度抜群、美しい海岸線とダイビングスポットで知られる小木・琴浦でのシーカヤック体験と太鼓体験、更には昼食と入浴がついた小木を1日満喫できるプランが今年の春から実施されることになりました。ぜひご注目ください。



2月15日 おからじゃがボール

思わず「うわ～」と子どものように叫びたくなるような、かわいらしいメニューです。

材料(4人分)

じゃがいも(ゆでてつぶす) 2個

玉ねぎ(みじん切り) 1/2個

おから 160g

鶏挽肉 200g

卵 1/2個

片栗粉 大さじ1

万能ねぎ(小口切り) 大さじ1

作り方

ゆでてつぶしたじゃがいもに炒めた玉ねぎ、おから、挽肉、卵、片栗粉を入れ、塩こしょうをして丸めて揚げる。だし汁に酒、みりん、醤油を入れてとろみをつけ、じゃがボールにかける。万能ねぎをちらす。



新シリーズ

鼓童村の食卓

鼓童文化財団スタッフの高津万理が作る鼓童村あつたかお昼ごはんメニューをご紹介します。ご家庭でもお試しください。まだ寒い日が続きますが、栄養を付けて乗り切りましょう。題字とイラスト: 石原雅美

◆「アマテラス」製作発表会見が行われました◆

2013年7月より「アマテラス」公演が、東京・赤坂ACTシアターを皮切りに、9月は福岡・博多座、10月は京都・南座で行われます。1月28日に東京都内で報道陣を多数集めての製作発表が行われました。登壇された坂東玉三郎さん、アミノウズメ役の愛音羽麗さん、鼓童代表の見留知弘、音楽監督を務める吉井啓悟の会見でのコメントを一部ご紹介します。



写真：上田恵里花

坂東: 鼓童と作品を作り上げた最初は、打楽器であるということに重きを置いていましたが、弦楽器なども取り入れて広がりが出て、うまく融合しました。今回はアミノウズメを演じる愛音さんのための曲を、音楽監督の吉井さんに作ってもらっていますので、さらに作品に広がりが出ると思います。

愛音: 昨年10月まで宝塚に在籍していましたが、今回アマテラスに出演できること、大変光栄に思っています。鼓童の方々は今年1月に稽古をご一緒したときに初めてお会いしたのですが、とてもあたたかく親切で、早くお稽古をしたい気持ちです。今回は性別を超えた魂として表現できるアミノウズメを演じられたらと思います。

見留: 玉三郎さんを芸術監督としてお迎えして、舞台人としての生活習慣、そのための環境など全般にわたってご指導いただいています。愛音さんは、1月に鼓童の稽古場にいらしたのですが、とても良い出会いでした。公演では舞台上で楽しんで演じるということが、お客さまに楽しんでいただく上で大切なことだと思いますので、しっかり精進して頑張りたいと思います。

吉井: 私は前は新人として舞台の端で参加させていただきました。今回は音楽監督という大役をいただきましたので、気合いを入れて頑張りたいと思います。天の岩屋戸開きをモチーフにしていますので、日本神話のプリミティブで神秘的な部分を、鼓童に今できる最高のパフォーマンスで音作りをしていきたいと思っています。

◆坂東玉三郎氏、仏芸術文化勲章「コマンドゥール」受章◆

坂東玉三郎さんがこれまでの芸術・文化への貢献に対してフランス文化省より、フランス芸術文化勲章最高章である「コマンドゥール」を受章されました。授章式では、歌舞伎の女方、また世界の素晴らしい芸術家とのコラボレーションの功績と今年2月にパリのシャトレ座で行われた「坂東玉三郎公演」が称賛されました。1991年に同芸術文化勲章の「シュヴリエ」を受章し、その後のさらなる功績による最高章授与となりました。誠におめでとうございます。



写真提供：松竹株式会社

鼓童についての最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.kodo.or.jp>

鼓童事務所へのお問い合わせはこちらへ。

Tel. 0259-86-3630 (代) / Fax. 0259-86-3631

Email: heartbeat@kodo.or.jp

▼毎日、中国から報告(日記?)を送ってくださる吉利さん。写真は多い時で一通に六〇枚もあり、一緒に旅をしている気分になります。添えられているコメントも面白く、「吉利日記」で本が出せるくらいのも量です。全力の太鼓ワークショット&オフショット、鼓童ウェブログにもアップしていますので是非ご覧ください。(恵)

▼出張で山梨に行ってきた。清々しい乾いた空、青い空よりさらに青く、くつきりと浮かぶ富士山と南アルプス、八ヶ岳。嗚呼、なんて綺麗なんでしょう。冬って、豪雪で、モノクロームで、風が厳しいだけじゃなかったんですね。(瑠)

▼岩手県三陸の大槌町。壊滅的な被害を受けた地域ですが、二月十一日、十数団体もが参加する芸能祭が行われました。その日は月命日。仮設住宅から集まった方々に混じって、私も黙祷を捧げました。依然として困難な生活の中、声を弾ませてステージの演者達を応援する皆さんの姿に、人と芸能の力を感じてきました。(倫)

▼めったにドラマは見ないのですが、福島の人なら見なきやというところで「八重の桜」にはまっています。「前の戦」といえば戊辰戦争という会津城下の苦難がこれから展開されるのかと思うだけで涙腺が緩んでしまう…。まだまだ戦のような状況にある福島に、また、三・一一という日が巡ってきます。逆境にこそ、美しい花が咲く。ひたすら思い、思い続ける日々です。(美)

▼『Kaguyahime』を観るために伊達なつめさんをご案内ではなく私がくっついて行ったパリ。あまりの大会つぷりとゴージャス感に、地味好きな私は気後れすることしきり。でも公演のほうは、伊達さんのレポート通り、オペラ座の圧倒的な空間にも負けない、ワクワクと胸が高鳴るような素晴らしい作品でした。(す)